

大腸CT検査施行例における炭酸ガス送気時間の計測とその臨床意義に関する 研究のお知らせ

東京メディカルクリニックでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2025 年 6 月 1 日 ～2029 年 3 月 31 日

〔研究課題〕 大腸CT検査施行例における炭酸ガス送気時間の計測とその臨床意義に関する研究

〔研究目的〕 大腸CT検査時に行われる炭酸ガス送気にかかる時間は、身長や体重といった個人の特徴や、消化管の蠕動運動を抑える薬の使用などにより影響を受けるものの、国内外を問わずこれまでほとんど調査されていません。この調査は炭酸ガス送気にかかった時間に関するデータベースを作成し、その臨床的意義について検討することで、炭酸ガス送気にかかる時間を予測する新たな因子を見出すことを目的とします。

〔研究意義〕 大腸CT検査における炭酸ガス送気時間およびその関連因子が明らかになることで、送気手技の標準化、大腸CT検査実施施設の検査時間枠の最適化、人的リソースの配分などに貢献できる可能性があります。

〔対象・研究方法〕 健診会東京メディカルクリニック(東京都北区滝野川 6-14-9)において大腸がんスクリーニングの為に大腸 CT 検査(2024 年 11 月～2025 年 4 月)が行われた患者を対象とし、炭酸ガス送気にかかった時間の計測データと調査項目より、炭酸ガス送気にかかる時間の予測因子を探索します。解析に用いるデータは個人を特定できないようにマスキング処理をしたうえで解析します。

〔研究機関名〕 東京メディカルクリニック

〔個人情報の取り扱い〕 「臨床研究における記録保管に関する標準業務手順書」に従います。研究に携わる関係者は被験者 研究対象者の個人情報保護に最大限の努力をばらいます。研究責任／分担医師は、匿名化したデータを用い、個人を特定できる情報(氏名・住所・電話番号など)は記載しません。研究責任医師は、当該臨床研究の実施に係る記録(文書および電子記録)を研究終了後施設内放射線科にて 10 年間保存し、その後破棄いたします。

〔その他〕 本研究は、後ろ向きの疫学調査であり、患者さんへの経済負担や支払いは生じません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：東京メディカルクリニック 放射線科 技師長 三原嵩大

研究分担者：東京メディカルクリニック 消化器外科 近藤友樹

所属：東京メディカルクリニック

住所： TEL:03-3910-3438(代表) [内線 640]